

あい愛  
ひろば

# 桐生市社協だより

Vol.60

2019.6.1 発行

発行／社会福祉法人 桐生市社会福祉協議会  
〒376-0006 桐生市新宿3-3-19  
TEL.0277-46-4165 FAX.0277-46-4166  
ホームページ <http://kiryu-csw.net>



講師の山口昇さんと一緒に作品を作るなるかみ寮の利用者さん

## 主な内容

- 2・3 …… 平成 31 年度事業計画・予算
- 4・5 …… 赤い羽根共同募金
- 6 …… ふれあい子育てサロン
- 7 …… なるかみ寮美術講座
- 8 …… 職員採用試験

みやま園なるかみ寮では、レクリエーションの一環として美術講座を行なっています。

詳しくは 7 ページをご覧ください。



平成31年度

# 事業計画と予算

## 地域住民が主役となる福祉活動の推進を

### 総務課

地域を取り巻く環境は、少子高齢化や家族形態の変化などを背景にして大きく変化しており、それに伴い福祉課題も複雑化・多様化してきています。そうした課題に対応していくため、住民相互の支え合いや幅広い分野での総合的な支援体制が必要となってきました。平成31年度は、行政や専門機関、各種団体と協働しながら、地域住民の意見を反映した上で第3次桐生市地域福祉活動計画の作成に取り組みとともに、誰もが地域で安心して暮らしていくことができるよう各種事業を展開します。

#### 主な内容

※（ ）内は予算額

#### ① 地域福祉活動

##### (1) 地域福祉活動計画作成

(50万円)

第2次地域福祉活動計画の評価・見直しを行い、確認された新たな生活課題に地域住民とともに対応します。また、第3次地域福祉活動計画作成のため、アンケート調査や地区別懇談会を実施して地域の課題やニーズの把握に努めます。

##### (2) サロン活動

(365万円)

地域福祉活動を推進するため、地域で実施されるサロン活動、自主防災活動、世代間交流活動に助成金を交付します。また、地区担当職員が運営を支援し、開催回数や場所を増やすなど、サロンの充実に取り組みます。



サロンの様子

##### (3) 見守り活動

(51万3千円)

地域の高齢者が孤立しないよう、地域全体の見守り活動に助成金を交付します。また、活動を通じて住民同士の繋がりを強め、発見された福祉課題の解決に努めます。

##### (4) 生活支援体制整備

(1,090万1千円)

地域のふれあいを推進する拠点として、センター内の会議室を福祉関係団体へ貸出し、活動の促進に努めます。また、館内清掃業務や交流コーナー内のキッチンのみを障害者の就労訓練の場とし、自立に向けた支援をします。

##### (5) ボランティア活動

(171万6千円)

地域における高齢者の生活支援体制の整備を推進するため、全市を範囲とする第1層、日常生活圏を範囲とする第2層の生活支援コーディネーターを配置し、日常生活ニーズ、地域資源を把握します。また、桐生市が設置する協議体に参画し、地域住民及び関係機関と連携し、まちづくりの仕組みづくりを推進します。

##### (6) 総合福祉センター

(1,942万1千円)

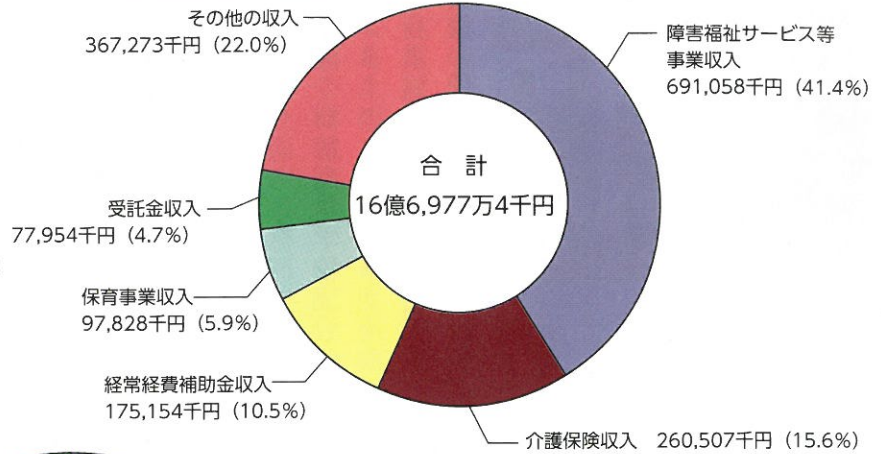
ボランティア活動の研修や活動を調整し、ボランティアの人材育成やボランティア活動施設の拡充に努めます。ボランティアへの情報発信、養成講座、調査などを通して幅広くボランティア活動を支援します。



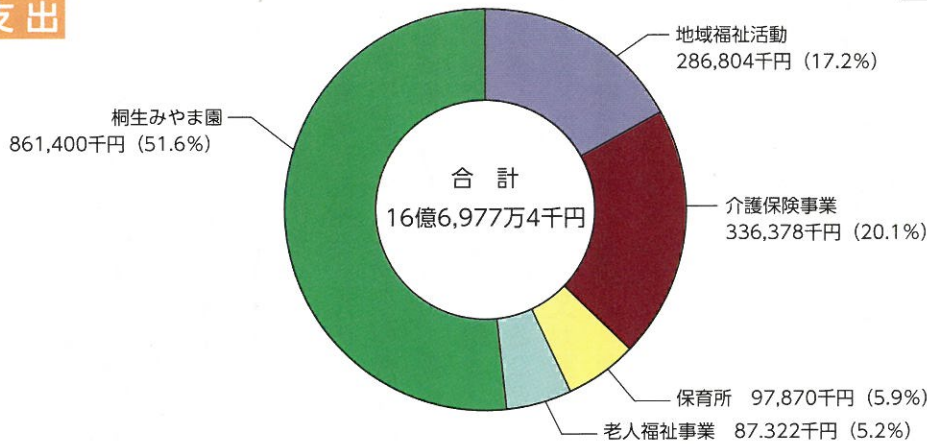
# 平成31年度予算

## 収入

〔その他の収入内訳〕  
 会費収入 3,388千円  
 寄附金収入 1,806千円  
 事業収入 8,370千円  
 負担金収入 2,051千円  
 就労支援事業収入 35,091千円  
 積立資産取崩収入 37,283千円  
 その他の収入 27,259千円  
 前期末支払資金残高 252,025千円



## 支出



### ② 介護保険

#### (1) 居宅介護支援

(3,387万1千円)

自宅で介護を受けている要介護者が適切に居宅介護サービスを受け、在宅での生活を維持することができるよう、居宅サービス計画（ケアプラン）作成、指定居宅サービス事業者等との連絡調整、利用者の相談に応じます。

#### (2) ホームヘルプサービス

(1億937万3千円)

訪問介護員を自宅に派遣し、要介護者、要支援者、身体障害者に入浴や排泄など身体介護、食事や掃除など日常生活を支援します。

#### (3) デイサービスセンター

(2億3,174万1千円)

要介護者、要支援者に、デイサービスセンターへの通所により、健康状態の確認、入浴、食事、機能回復訓練などの介護、日常生活の支援をします。

#### (4) 地域包括支援センター

(3,985万7千円)

高齢者の総合相談窓口として、さまざまな相談に応じ、高齢者の介護予防や福祉サービスを効果的に利用できるような支援をします。

### ③ 保育所

(1億301万6千円)

心身ともに健康で明るく、意欲的に活動できる子どもに育てることを目標に保育の充実を図り、園児の安全を第一に考え、施設設備の改修や整備を実施します。

### ④ 老人福祉

(8,732万2千円)

高齢者の交流や介護予防事業を推進する拠点として、長寿センター、広沢老人憩の家、ふれあいホーム、新里福祉センターを運営します。

### ⑤ 桐生みやま園

(9億6,784万8千円)

障害者が地域で安心して暮らせる社会の実現をめざし、各種日中活動や施設入所支援事業を実施します。また施設の老朽化や利用者の多様化するニーズに対応するため、施設の建替について検討を行います。



「ご寄付ありがとうございました」

# 赤い羽根共同募金

地域福祉課

昨年10月1日から赤い羽根共同募金運動を実施しました。戸別、街頭、法人、学校、職域、イベント等の各募金にご協力いただき、次のとおり募金が集まりました。

- 桐生市支会 7,447,971円
- 桐生市支会新里分会 1,509,564円
- 桐生市支会黒保根分会 237,801円

皆様のあたたかいご協力に、心から感謝申し上げます。

## ■街頭募金

明照学園 樹徳高等学校  
インターアクトクラブ



樹徳高校インターアクトクラブ

市内商業施設及び樹徳高校・中高一貫校の校門で募金活動を行い、

750,453円の寄付をいただきました。

樹徳高校の活動は、今回で41年連続となり、寄付総額は、43,726,131円です。

募金活動をした生徒さんの声  
「市民のみなさまからの善意に心温まる思いがしました。募金活動中も温かい言葉をいただき、苦勞を感じることなく頑張ることができました。」

## 地域福祉活動等に活用

共同募金で集まったお金は県内の福祉に約50%、市内の福祉に約50%活用します。

桐生市支会は支援を必要とする民間福祉団体等からの申請を受け、運営委員会において審査し、配分を決定します。福祉活動を財政面から支援することで地域福祉の充実と発展を推進しています。

主な配分先は、支部社協活動、見守り活動、サロン活動、自主防災活動、介護予防活動、世代間交流活動など市内で行われている地域住民が主体となつて行う活動です。

# サロン紹介

「百々の会」

地域福祉課

梅田4丁目町会では、毎週木曜日の午前10時から11時30分まで、二渡集会所でサロンを開催しています。名前のおり、住み慣れた地域で百歳まで自分らしく元気で



サロン百々の会

生活ができることを目的に、介護予防に取り組むサロンです。

プログラムは、鬼石体操、桐生市オリジナル介護予防体操「元氣おりおり体操」、脳トレゲーム等を行っている。

梅田地区のサロン、福祉専門職、地域包括支援センターにより構成されるサロンネットワーク「ちえのわネット」にも参加し、各サロンとの情報交換及びサロンプログラムの充実を図っています。

# 旭町自主防災訓練

地域福祉課

3月17日(土)、旭町あさひ会館で自主防災訓練が実施されました。当日は、災害の発生を想定した炊き出し訓練や、日頃の備えをどうすれば良いか映像を見て確認しました。町会、婦人会、育成会が参加して、地域の高齢者から児童まで幅広い世代の方が訓練に参加していました。炊き出し訓練では、ガスが止まった時のための火起こしを地域の小学生の皆さんが体験しました。有事の際には、地域住民の支え合いが必要になります。こうして地域の住民が顔を合わせ訓練の場を持つことが重要です。



旭町自主防災訓練